

四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期会計期間末 (平成22年6月30日現在)	前事業年度に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日現在)
資産の部		
現金及び預貯金	3,286	3,507
有価証券	76,869	73,234
有形固定資産	362	325
無形固定資産	2,172	1,912
その他資産	12,415	13,553
繰延税金資産	6,271	5,807
資産の部合計	101,376	98,340
負債の部		
保険契約準備金	79,476	75,851
支払備金	18,159	17,725
責任準備金	61,317	58,125
その他負債	5,179	5,809
未払法人税等	736	565
その他の負債	4,442	5,243
退職給付引当金	567	552
役員退職慰労引当金	29	28
賞与引当金	317	589
特別法上の準備金	31	27
価格変動準備金	31	27
負債の部合計	85,602	82,858
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,000	20,000
資本剰余金	20,000	20,000
利益剰余金	△ 24,257	△ 24,543
株主資本合計	15,742	15,456
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	31	25
評価・換算差額等合計	31	25
純資産の部合計	15,774	15,482
負債及び純資産の部合計	101,376	98,340

四半期損益計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)
経常収益	17,491	19,052
保険引受収益	17,308	18,868
(うち正味収入保険料)	17,301	18,860
(うち積立保険料等運用益)	7	7
資産運用収益	170	179
(うち利息及び配当金収入)	170	186
(うち有価証券売却益)	7	-
(うち積立保険料等運用益振替)	△ 7	△ 7
その他経常収益	12	4
経常費用	16,587	18,581
保険引受費用	12,646	14,396
(うち正味支払保険金)	8,014	9,266
(うち損害調査費)	973	1,143
(うち諸手数料及び集金費)	344	360
(うち支払備金繰入額)	263	433
(うち責任準備金繰入額)	3,050	3,192
資産運用費用	12	-
(うち有価証券売却損)	12	-
営業費及び一般管理費	3,924	4,173
その他経常費用	2	11
経常利益	904	470
特別利益	1	-
特別法上の準備金戻入額	1	-
価格変動準備金戻入額	1	-
特別損失	3	12
固定資産処分損	3	8
特別法上の準備金繰入額	-	3
価格変動準備金繰入額	-	3
税引前四半期純利益	902	458
法人税及び住民税	776	639
法人税等調整額	△ 485	△ 467
法人税等合計	291	172
四半期純利益	610	286

当四半期の損益状況

(単位：百万円)

期 別		前第1四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	比較増減	増減率
科 目					
元受正味保険料(含む収入積立保険料)		17,253	18,737	1,483	8.6 %
(元受正味保険料)		(17,253)	(18,737)	(1,483)	(8.6)
経	保 險 引 受 収 益	17,308	18,868	1,559	9.0
	(うち正味収入保険料)	(17,301)	(18,860)	(1,559)	(9.0)
	保 險 引 受 費 用	12,646	14,396	1,750	13.8
	(うち正味支払保険金)	(8,014)	(9,266)	(1,252)	(15.6)
常	(うち損害調査費)	(973)	(1,143)	(169)	(17.4)
	(うち諸手数料及び集金費)	(344)	(360)	(16)	(4.7)
	資 産 運 用 収 益	170	179	8	5.0
	(うち利息及び配当金収入)	(170)	(186)	(16)	(9.7)
損	(うち有価証券売却益)	(7)	(—)	(△7)	(△100.0)
	資 産 運 用 費 用	12	—	△12	△100.0
	(うち有価証券売却損)	(12)	(—)	(△12)	(△100.0)
	営 業 費 及 び 一 般 管 理 費	3,924	4,173	248	6.3
(保険引受に係る営業費及び一般管理費)	(3,906)	(4,154)	(248)	(6.4)	
そ の 他 経 常 損 益		9	△6	△15	△171.1
益	経 常 利 益	904	470	△433	△47.9
	(保険引受利益)	(755)	(316)	(△438)	(△58.1)
特 別 損 益	特 別 利 益	1	—	△1	△100.0
	特 別 損 失	3	12	9	264.2
	特 別 損 益	△2	△12	△10	—
税 引 前 四 半 期 純 利 益		902	458	△443	△49.2
法 人 税 及 び 住 民 税		776	639	△137	△17.7
法 人 税 等 調 整 額		△485	△467	18	—
法 人 税 等 合 計		291	172	△119	△41.0
四 半 期 純 利 益		610	286	△324	△53.1
諸 比 率	正 味 損 害 率	52.0%	55.2%	/	/
	正 味 事 業 費 率	24.6%	23.9%	/	/

(注) 1. 保険引受利益 = 保険引受収益 - (保険引受費用 + 保険引受に係る営業費及び一般管理費) ± その他収支
なお、その他収支は自動車損害賠償責任保険等に係る法人税相当額などでありませう。

2. 諸比率は次の算式によっております。

$$\text{正味損害率} = (\text{正味支払保険金} + \text{損害調査費}) \div \text{正味収入保険料} \times 100$$

$$\text{正味事業費率} = (\text{諸手数料及び集金費} + \text{営業費及び一般管理費}) \div \text{正味収入保険料} \times 100$$

(なお、営業費及び一般管理費は保険引受に係るものに限りませう。)

種目別保険料・保険金

元受正味保険料

(単位：百万円)

種目	期別	前第1四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)			当第1四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)		
		金額	構成比	増減率	金額	構成比	増減率
火災	災	71	0.4	5.0	31	0.2	△ 56.4
海上	上	—	—	—	—	—	—
傷害	害	1,708	9.9	4.8	1,767	9.4	3.4
自動車	車	15,473	89.7	12.6	16,938	90.4	9.5
自動車損害賠償責任		—	—	—	—	—	—
合計	計	17,253	100.0	11.7	18,737	100.0	8.6

正味収入保険料

(単位：百万円)

種目	期別	前第1四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)			当第1四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)		
		金額	構成比	増減率	金額	構成比	増減率
火災	災	3	0.0	△ 8.0	1	0.0	△ 45.3
海上	上	2	0.0	△ 70.4	3	0.0	40.7
傷害	害	1,780	10.3	3.5	1,824	9.7	2.5
自動車	車	15,415	89.1	12.6	16,871	89.5	9.4
自動車損害賠償責任		99	0.6	△ 5.9	158	0.8	59.9
合計	計	17,301	100.0	11.4	18,860	100.0	9.0

正味支払保険金

(単位：百万円)

種目	期別	前第1四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)			当第1四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)		
		金額	増減率	正味損害率	金額	増減率	正味損害率
火災	災	0	△ 9.0	74.9	0	49.7	119.0
海上	上	0	△ 76.8	32.0	3	260.8	82.2
傷害	害	348	15.0	21.8	378	8.5	23.4
自動車	車	7,538	17.1	54.9	8,732	15.8	58.2
自動車損害賠償責任		126	8.6	126.9	153	21.5	96.3
合計	計	8,014	16.8	52.0	9,266	15.6	55.2

ソルベンシー・マージン比率

(単位：百万円)

	当第1四半期会計期間末 (平成22年6月30日)	前事業年度末 (平成22年3月31日)
(A) ソルベンシー・マージン総額	28,345	27,444
資本金又は基金等	15,742	15,456
価格変動準備金	31	27
危険準備金	6	6
異常危険準備金	12,519	11,918
一般貸倒引当金	-	-
その他有価証券の評価差額(税効果控除前)	44	36
土地の含み損益	-	-
払戻積立金超過額	-	-
負債性資本調達手段等	-	-
控除項目	-	-
その他	-	-
(B) リスクの合計額 $\sqrt{(R_1+R_2)^2+(R_3+R_4)^2}+R_5+R_6$	5,505	5,388
一般保険リスク (R ₁)	4,715	4,599
第三分野保険の保険リスク (R ₂)	0	0
予定利率リスク (R ₃)	10	10
資産運用リスク (R ₄)	263	288
経営管理リスク (R ₅)	168	165
巨大災害リスク (R ₆)	614	614
(C) ソルベンシー・マージン比率 [(A) / {(B) × 1/2}] × 100	1,029.7 %	1,018.5 %

(注) 上記の金額及び数値は、保険業法施行規則第86条及び第87条並びに平成8年大蔵省告示第50号の規定に基づいて算出しております。なお、当第1四半期会計期間末のソルベンシー・マージン比率は、巨大災害リスクの基礎数値の一部を前事業年度末と同値とみなすなど、計算の一部を簡便化して算出しております。

<ソルベンシー・マージン比率>

- ・損害保険会社は、保険事故発生の際の保険金支払や積立保険の満期返戻金支払等に備えて準備金を積み立てておりますが、巨大災害の発生や、損害保険会社が保有する資産の大幅な価格下落等、通常の予測を超える危険が発生した場合でも、十分な支払能力を保持しておく必要があります。
- ・こうした「通常の予測を超える危険」を示す「リスクの合計額」(上表の(B))に対する「損害保険会社が保有している資本金・準備金等の支払余力」(すなわちソルベンシー・マージン総額：上表の(A))の割合を示す指標として、保険業法等に基づき計算されたのが、「ソルベンシー・マージン比率」(上表の(C))であります。
- ・「通常の予測を超える危険」とは、次に示す各種の危険の総額をいいます。
 - ①保険引受上の危険 : 保険事故の発生率等が通常の予測を超えることにより発生し得る危険(巨大災害に係る危険を除く)
(一般保険リスク)
(第三分野保険の保険リスク)
 - ②予定利率上の危険 : 実際の運用利回りが保険料算出時に予定した利回りを下回ることにより発生し得る危険
(予定利率リスク)
 - ③資産運用上の危険 : 保有する有価証券等の資産の価格が通常の予測を超えて変動することにより発生し得る危険等
(資産運用リスク)
 - ④経営管理上の危険 : 業務の運営上通常の予測を超えて発生し得る危険で上記①～③及び⑤以外のもの
(経営管理リスク)
 - ⑤巨大災害に係る危険 : 通常の予測を超える巨大災害(関東大震災や伊勢湾台風相当)により発生し得る危険
(巨大災害リスク)
- ・「損害保険会社が保有している資本金・準備金等の支払余力」(ソルベンシー・マージン総額)とは、損害保険会社の純資産(社外流出予定額等を除く)、諸準備金(価格変動準備金・異常危険準備金等)、土地の含み益の一部等の総額であります。
- ・ソルベンシー・マージン比率は、行政当局が保険会社を監督する際に活用する客観的な判断指標のひとつですが、その数値が200%以上であれば「保険金等の支払能力の充実の状況が適当である」とされております。